



～広陵北小学校区～

陵町コミュニティカルテ

平成30年7月

広陵北小学校区

1. 区域

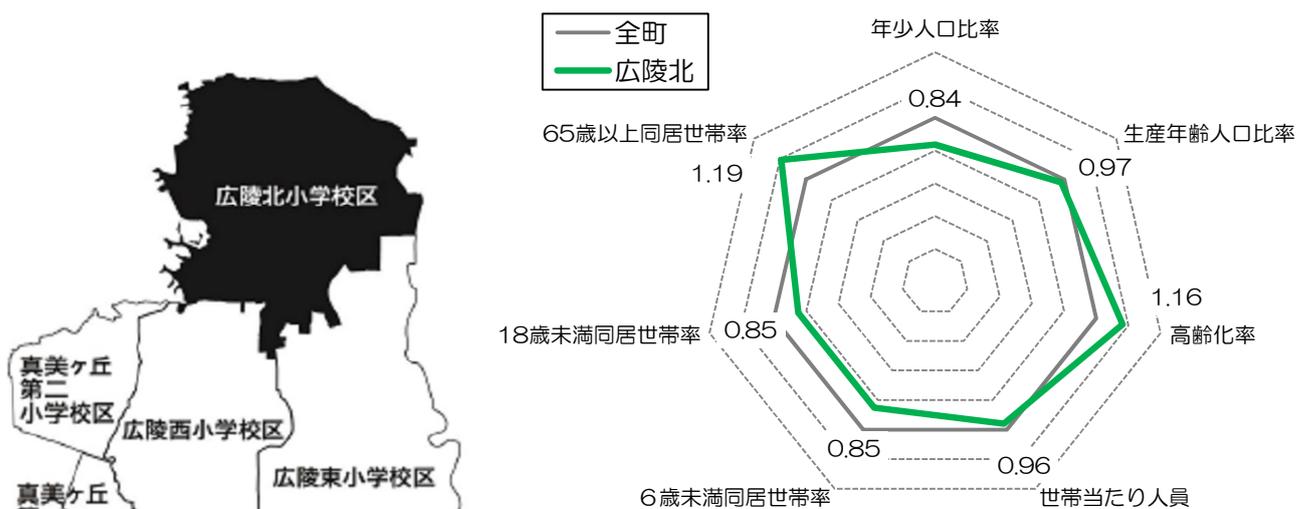
学校名	通学区域
広陵北小学校	沢・大野・萱野・南・弁財天・的場・大場・寺戸・中（広陵東小学校区の通学区域除く）

2. 主要統計指標（基準日：平成 29 年 12 月末日 ※同居世帯数（世帯率）は平成 25 年 9 月）

■広陵北小学校区

項目	広陵北	順位	全町
総人口	5,138 人	4	35,002 人
面積	4.5 km ²	2	16.3 km ²
人口密度	11.4 人/ha	4	21.5 人/ha
年少人口（0～14 歳）	645 人	5	5,247 人
生産年齢人口（15～64 歳）	3,038 人	4	21,232 人
老年人口（65 歳以上）	1,455 人	4	8,523 人
年少人口比率	12.6%	5	15.0%
生産年齢人口比率	59.1%	4	60.7%
高齢化率	28.3%	2	24.4%
世帯数	1,974 世帯	4	12,914 世帯
世帯当たり人員	2.60 人	5	2.71 人
6 歳未満同居世帯数 （世帯率）	187 世帯 (10.0%)	4 5	1,419 世帯 (11.8%)
18 歳未満同居世帯数 （世帯率）	379 世帯 (20.3%)	4 4	2,887 世帯 (23.9%)
65 歳以上同居世帯数 （世帯率）	923 世帯 (49.5%)	3 2	5,009 世帯 (41.5%)

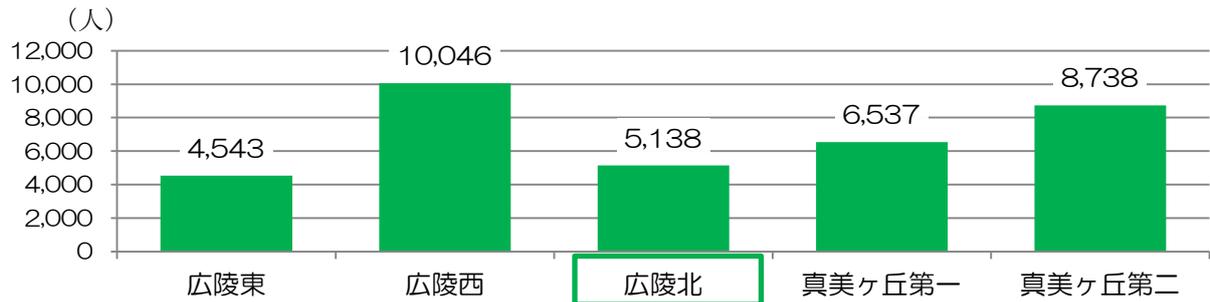
■広陵北小学校区の水準（全町＝1 とした指数）



- 高齢化率が高く、65 歳以上同居世帯率も高い。
- 年少人口比率が低く、6 歳未満同居世帯率及び 18 歳未満同居世帯率が低い。
- 人口密度が低い。

3. 人口など

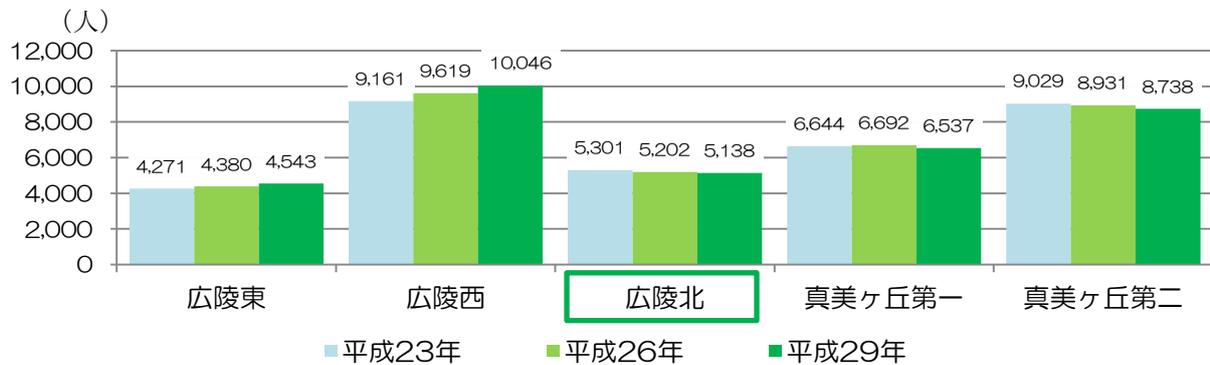
■総人口



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵北小学校区の人口は 5,138 人で、全小学校区中 4 番目となっている。

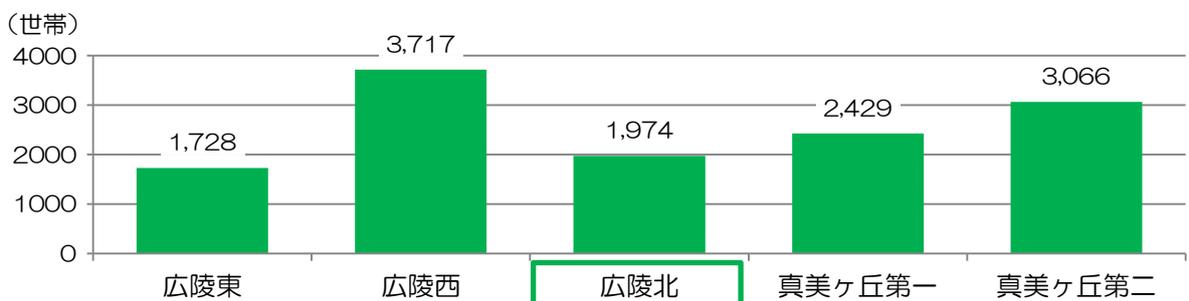
■総人口の推移



資料：住民基本台帳（平成 23 年、平成 26 年、平成 29 年、各年 12 月末）

広陵北小学校区の人口は、平成 23 年から比較して 163 人の減少（3.0 ポイントの下落）となっている。

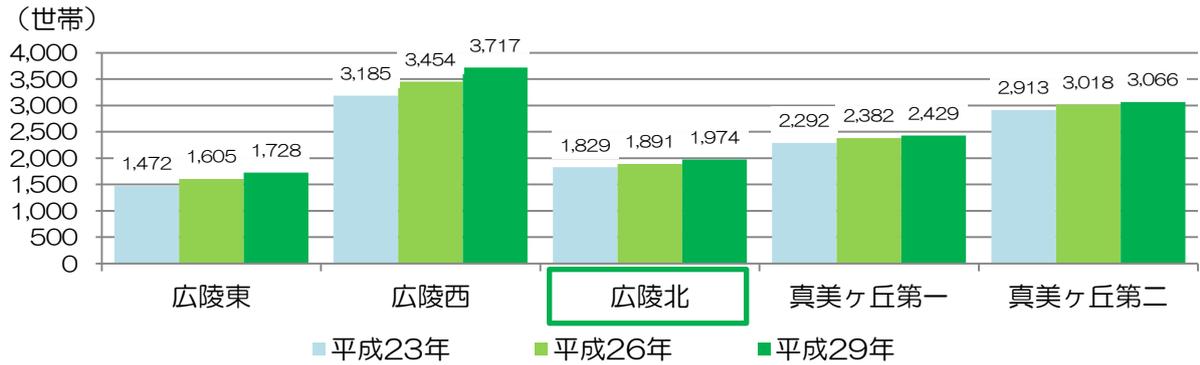
■総世帯数



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵北小学校区の総世帯数は 1,974 世帯で、全小学校区中 4 番目となっている。

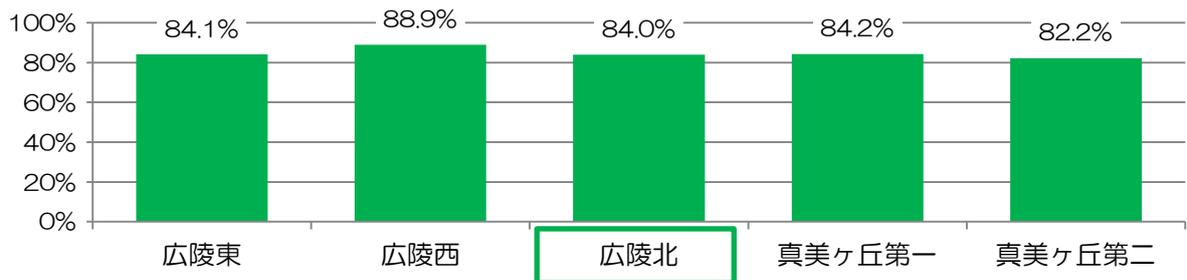
■総世帯数の推移



資料：住民基本台帳（平成23年、平成26年、平成29年、各年12月末）

広陵北小学校区の総世帯数は、平成23年から比較して145世帯の増加(7.9ポイントの上昇)となっている。

■自治会加入世帯割合



資料：区長・自治会長アンケート調査票（平成29年10月）

広陵北小学校区の自治会加入世帯割合は、84.0%で全小学校区中4番目となっている。

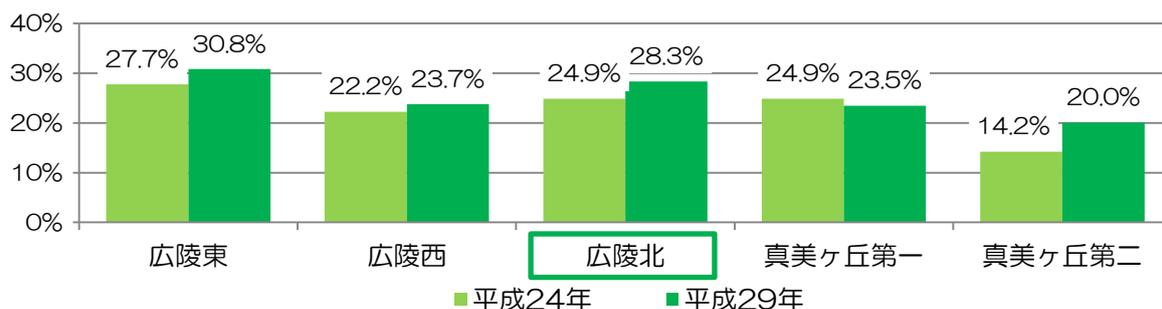
■年齢3区分人口構成比



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵北小学校区の年齢3区分人口構成比は0~14歳人口が12.6%で、全小学校区中5番目、15~64歳人口が59.1%で、全小学校区中3番目、65歳以上人口は28.3%で、全小学校区中2番目となっている。

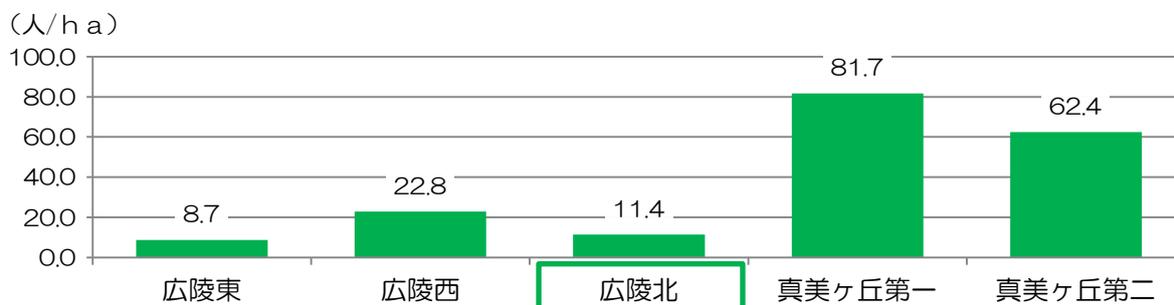
■高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（平成 24 年、平成 29 年、各年 12 月末）

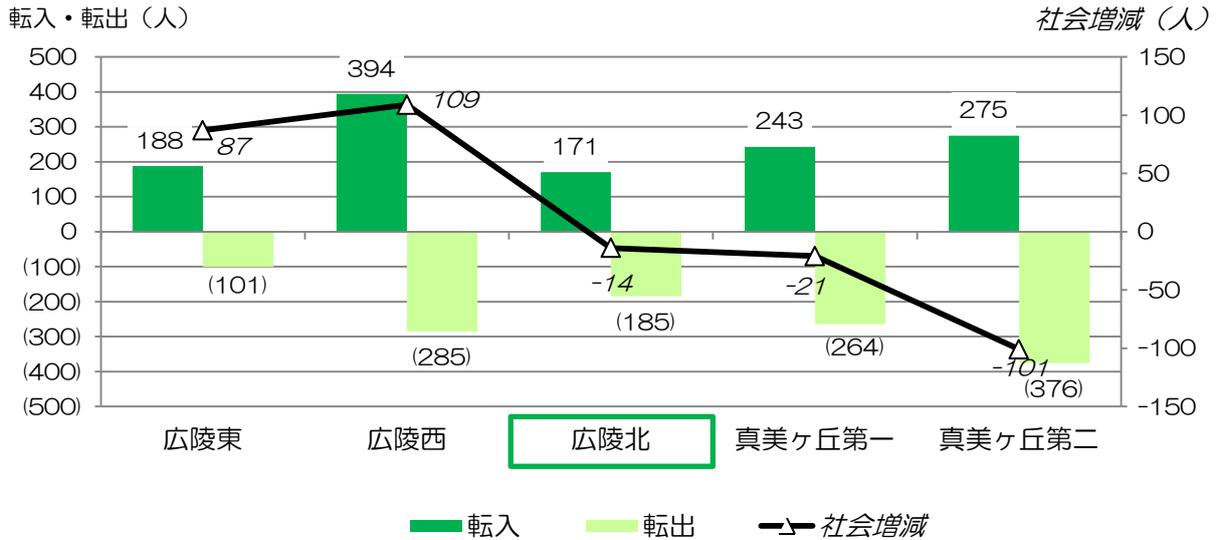
広陵北小学校区の高齢化率は、平成 24 年から比較して 3.4 ポイントの上昇となっている。

■人口密度



広陵北小学校区の人口密度は、全小学校区中4番目に高くなっている。

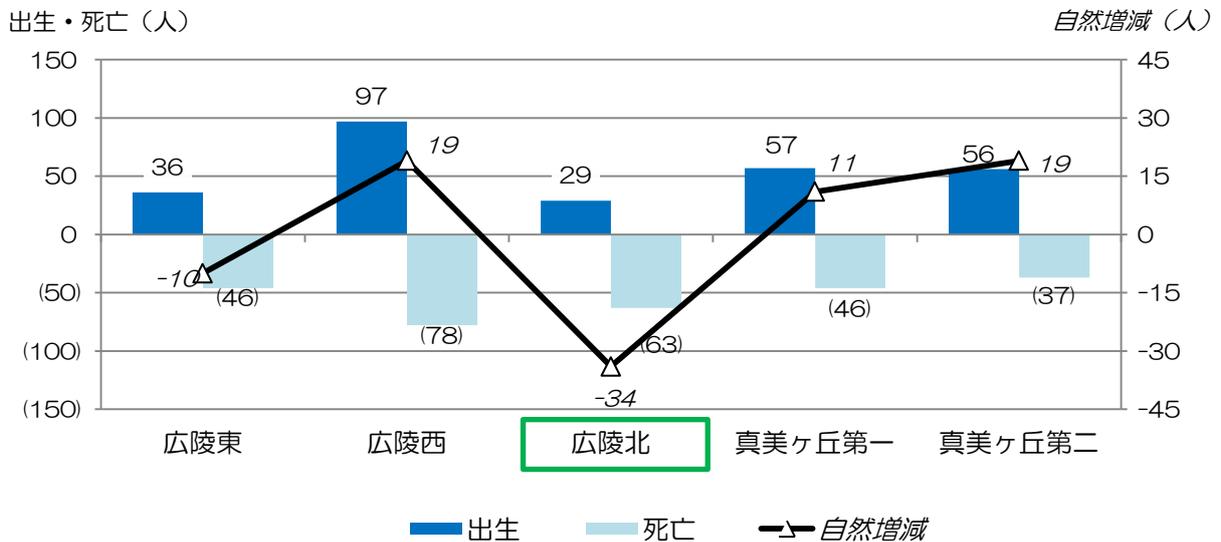
社会動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

広陵北小学校区の社会増減は、転入が 171 人、転出が 185 人となっており、14 人の社会減となっている。社会増減数は全小学校区中 3 番目となっている。

自然動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

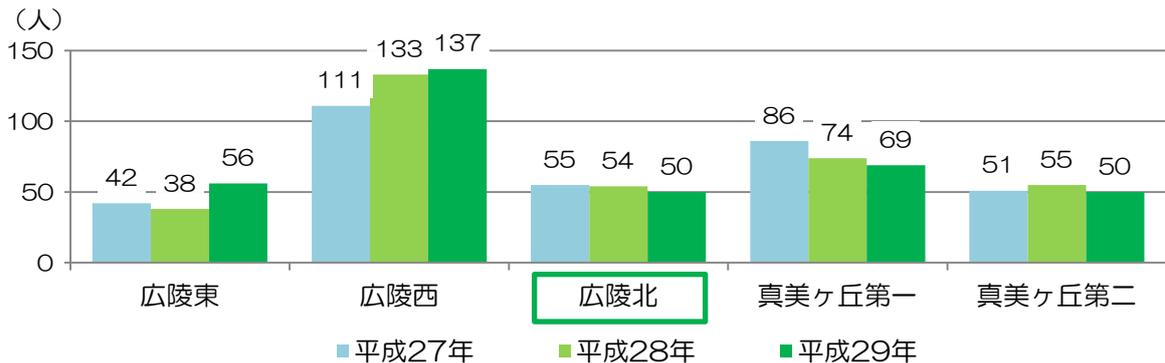
広陵西小学校区の自然増減は、出生が 29 人、死亡が 63 人となっており、34 人の自然減となっている。自然増減数は全小学校区中 5 番目となっている。

4. 保育・教育

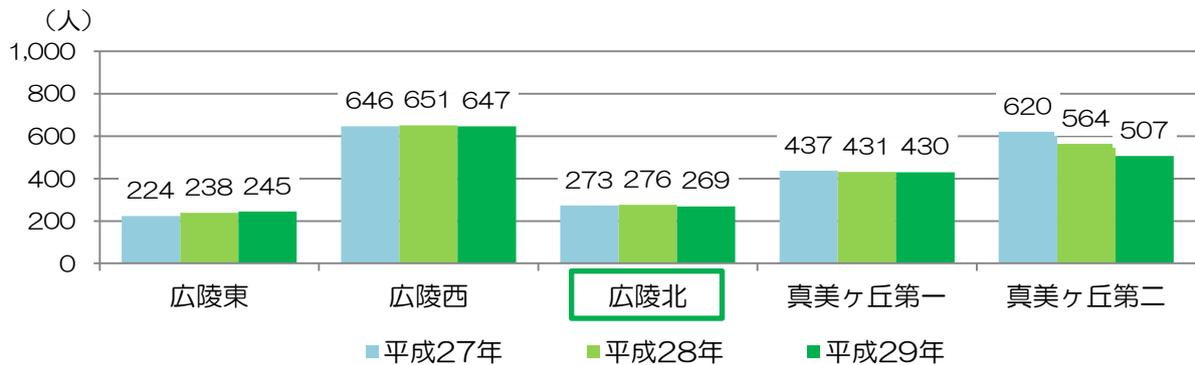
■保育・教育機関等

種類	名称	所在地
認定こども園	広陵北かぐやこども園	弁財天 297-2
小学校	広陵北小学校	弁財天 303
中学校	広陵中学校	笠 355
放課後子ども育成教室	くすのきクラブ（広陵北小学校内）	弁財天 303

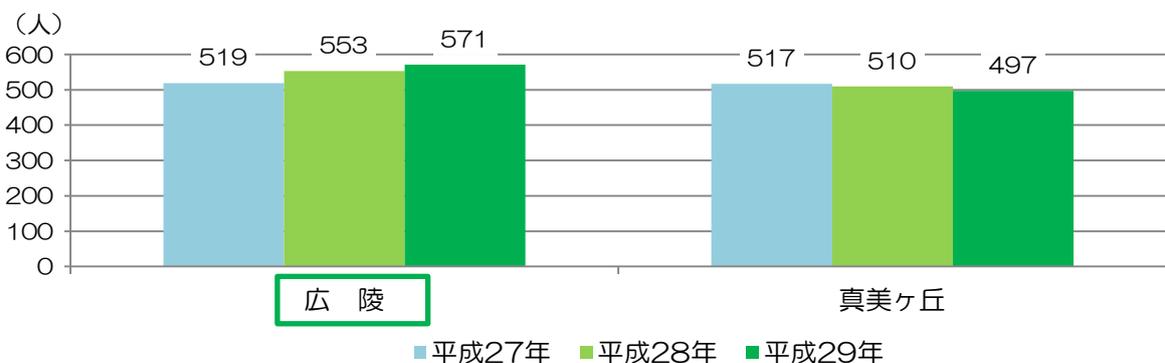
■幼稚園園児数の推移



■小学校児童数の推移



■中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査（各年5月1日）

5. 文化

■指定文化財

指定	区分	種別	名称	所有者	所在地
国	記念物	史跡	乙女山古墳	広陵町	寺戸
奈良県	有形文化財	建造物	教行寺本堂、対面所・書院 附 教行寺境内囿	教行寺	萱野
奈良県	有形文化財	絵画	板絵著色両界曼荼羅図	大福寺	の場
奈良県	有形文化財	彫刻	木造十一観音菩薩立像 難陀竜王像 雨宝童子像	大福寺	の場
広陵町	有形文化財	彫刻	木造毘沙門天立像 附 像内納入印仏	長泉寺	南

6. 公園・緑地

■公園等（指定緊急避難場所）

名称	所在地	水害	震災	火災
大福寺児童公園	の場地内		○	○

7. 防災

■指定避難所

名称	所在地	水害	震災	火災	耐震
広陵北小学校	弁財天 303		○	○	○
はしお元気村	弁財天 295-3		○	○	○
大和広陵高等学校	の場 401		○	○	○
広陵北体育館	大野 546-1		○	○	○

8. スポーツ

■体育施設

名称	所在地
広陵北体育館	大野 546-1

9. 医療

■医療機関・歯科医院

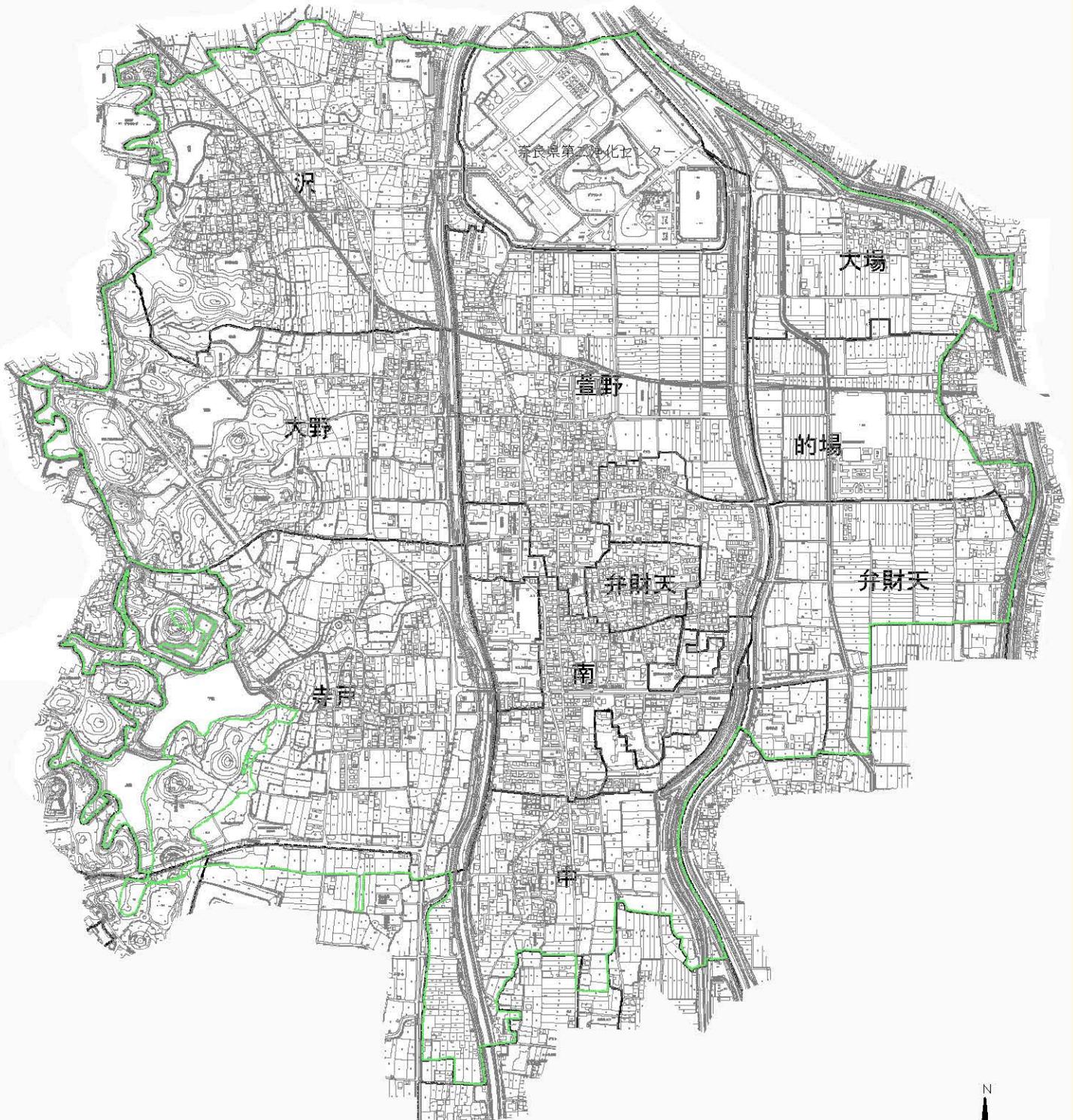
区分	名称	所在地
医療	中堀医院	の場 94-1
医療	石井医院	萱野 677-1
歯科	中西歯科	寺戸 11-2
歯科	白井歯科クリニック	中 169

10. 介護・福祉

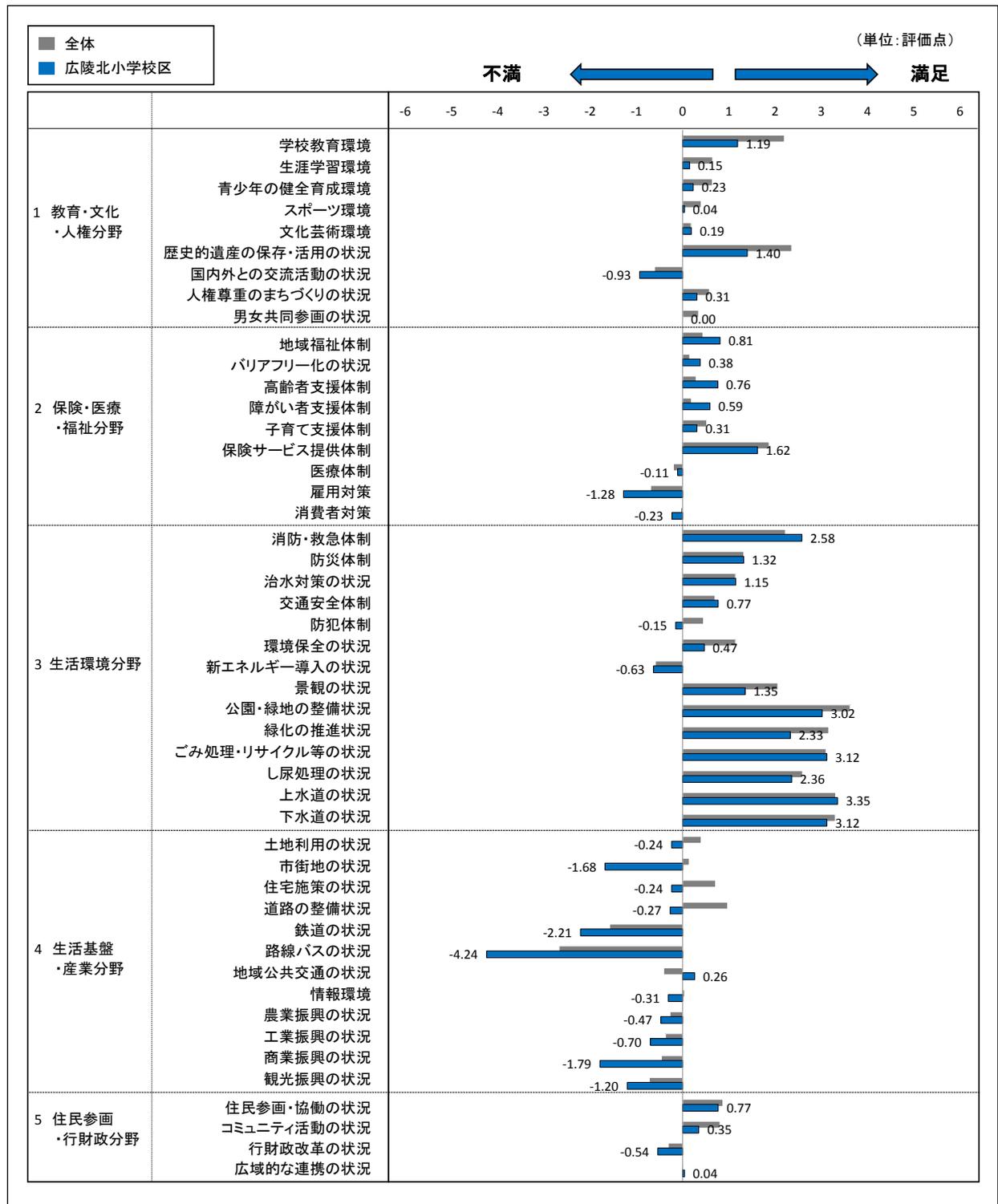
■事業所一覧

区分	名称	所在地
居宅介護支援 (ケアマネ)	中堀医院	的場 417-4
	ケアプランセンターあゆむ	大野 471-3
訪問介護 (ヘルパー)	訪問介護ステーションヤング	沢 522
	訪問介護ステーションかつらぎ	中 73
通所系サービス	デイサービスセンターこもれび	沢 396-1
	ヤングデイサービスセンター	沢 522
特定福祉用具販売	ケアクラフト合同会社	的場 137-4
福祉用具貸与	ケアクラフト合同会社	的場 137-4
福祉介護タクシー	かつらぎ	中 73

広陵北小学校区マップ



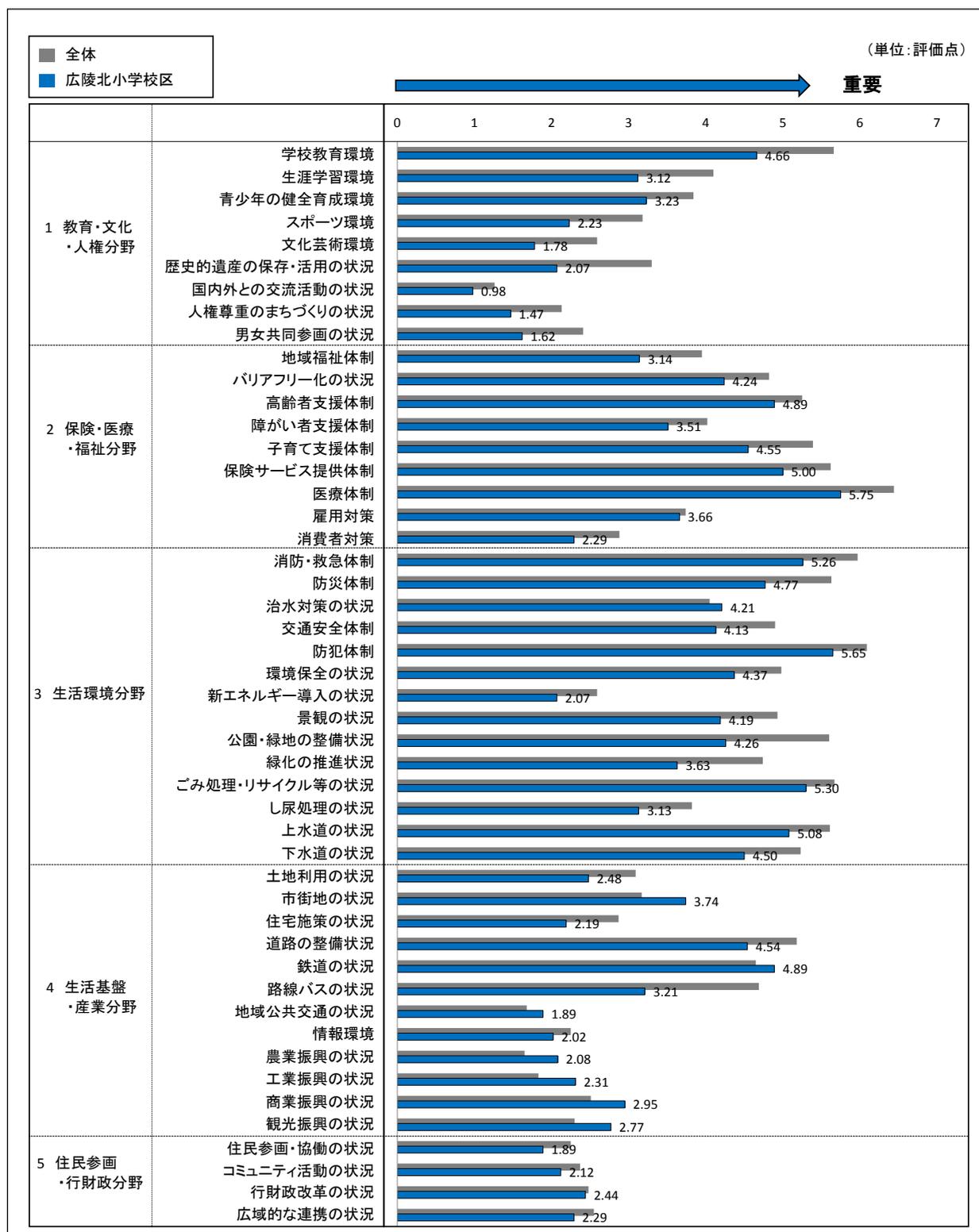
11. 現状に対する「満足度」(アンケート結果から)



各分野における現状の満足度について、広陵北小学校区の上位3項目は、「上水道の状況」が3.35点と最も高く、次いで、「下水道の状況」、「ごみ処理・リサイクル等の状況」が共に3.12点となっている。

下位3項目は、「路線バスの状況」が-4.24点と最も低く、次いで、「鉄道の状況」が-2.21点、「商業振興の状況」が-1.79点となっている。

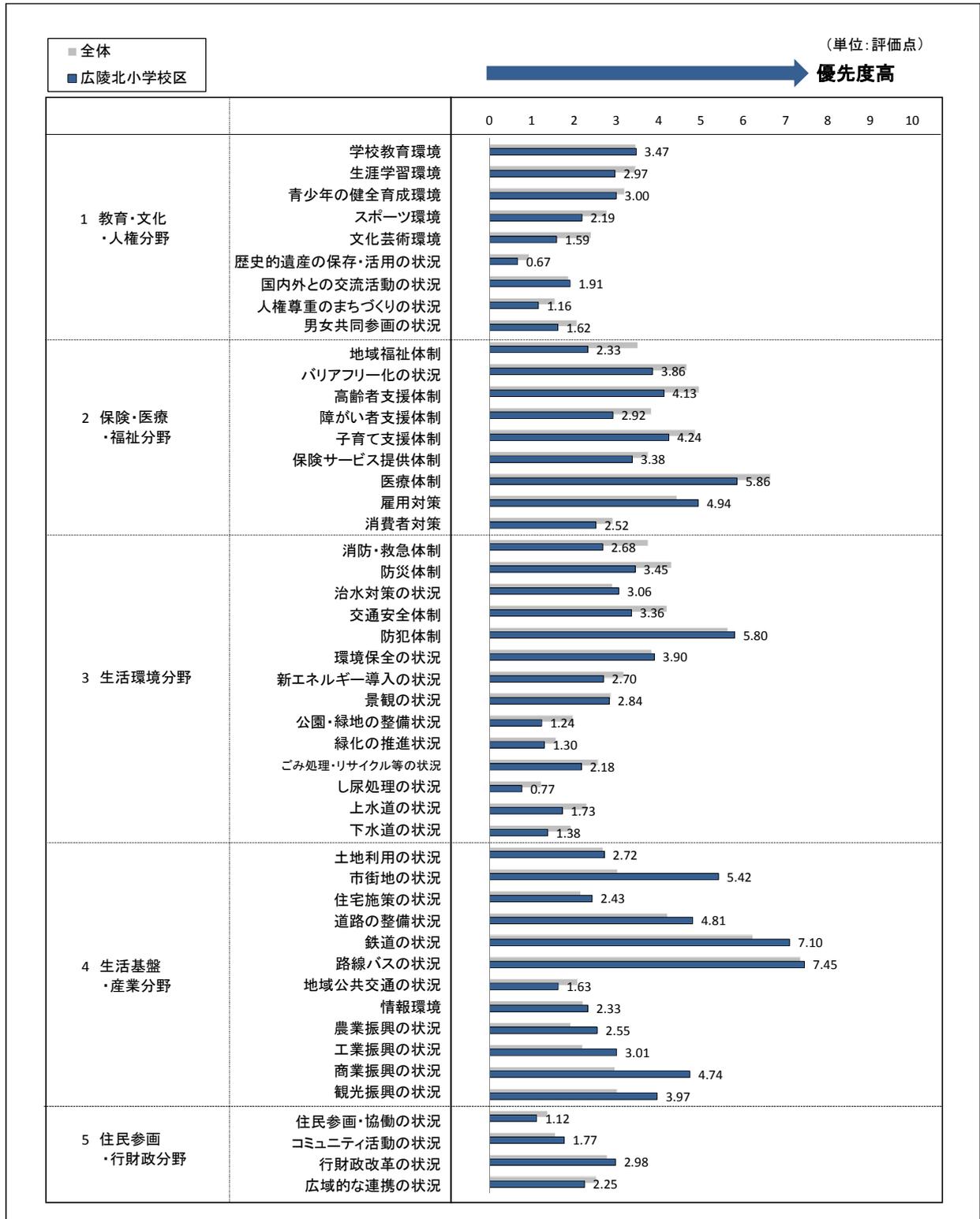
12. 今後の取り組みに対する「重要度」(アンケート結果から)



各分野の今後の取り組みに対する重要度について、広陵北小学校区の上位3項目は、「医療体制」が5.75点と最も高く、次いで、「防犯体制」が5.65点、「ごみ処理・リサイクル等の状況」が5.30点となっている。

下位3項目は、「国内外との交流活動の状況」が0.98点と最も低く、次いで、「人権尊重のまちづくりの状況」が1.47点、「男女共同参画の状況」が1.62点となっている。

13. 優先度<重要度評価－満足度評価>（アンケート結果から）



優先度について、広陵北小学校区の上位3項目は、「路線バスの状況」が7.45点と最も高く、次いで、「鉄道の状況」が7.10点、「医療体制」が5.86点となっている。続く「防犯体制」が5.80点、「市街地の状況」にいたっては5.42点と全体に比べ非常に高くなっている。

※11. 現状に対する「満足度」、12. 今後の取り組みに対する「重要度」、13. 「優先度」<重要度評価－満足度評価> の評価点については、平成27年8月実施のアンケート調査において、広陵町の各環境について、教育・文化・人権分野、保健・医療・福祉分野、生活環境分野、生活基盤・産業分野、住民参画・行財政分野の5分野48項目を設定し、項目ごとに5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化で評価点（最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出した。その詳細については下記のとおり。

※加重平均値（満足度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

※加重平均値（重要度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

※優先度の算出方法

各項目の重要度（加重平均値）から満足度（加重平均値）を減算して算出する。

$$\text{優先度} = \left[\text{重要度（加重平均値）} \right] - \left[\text{満足度（加重平均値）} \right]$$

14. まちへの愛着度（アンケート結果から）

■まちへの愛着：広陵町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じているか

上段：人 下段：%	合計	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	どちらともい えない	あまり愛着を 感じていない	愛着を感じて いない	無回答
全体	985	245	479	186	55	14	6
	100.0	24.9	48.6	18.9	5.6	1.4	0.6
広陵東	116	36	52	16	8	1	3
	100.0	31.0	44.8	13.8	6.9	0.9	2.6
広陵西	231	65	108	44	9	5	-
	100.0	28.1	46.8	19.0	3.9	2.2	-
広陵北	141	38	65	25	11	1	1
	100.0	27.0	46.1	17.7	7.8	0.7	0.7
真美ヶ丘第一	208	43	102	45	15	3	-
	100.0	20.7	49.0	21.6	7.2	1.4	-
真美ヶ丘第二	286	62	151	56	12	4	1
	100.0	21.7	52.8	19.6	4.2	1.4	0.3

広陵北小学校区の定住意向は、「とても愛着を感じている」、「どちらかという
と愛着を感じている」が合計 73.1%となっており、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の合計
8.5%を大きく上回っている。

15. 定住意向

■定住意向：これからも広陵町に住みたいか

上段：人 下段：%	合計	住みたい	どちらかとい えば住みたい	どちらともい えない	どちらかとい えば住みた くない	住みた くない (できれば引 越したい)	無回答
全体	985	428	307	178	54	14	4
	100.0	43.5	31.2	18.1	5.5	1.4	0.4
広陵東	116	53	31	17	10	4	1
	100.0	45.7	26.7	14.7	8.6	3.4	0.9
広陵西	231	108	57	50	13	2	1
	100.0	46.8	24.7	21.6	5.6	0.9	0.4
広陵北	141	62	37	25	15	2	-
	100.0	44.0	26.2	17.7	10.6	1.4	-
真美ヶ丘第一	208	88	72	38	7	2	1
	100.0	42.3	34.6	18.3	3.4	1.0	0.5
真美ヶ丘第二	286	115	110	48	9	4	-
	100.0	40.2	38.5	16.8	3.1	1.4	-

広陵北小学校区の定住意向は、「住みたい」、「どちらかとい
えば住みたい」が合計 70.2%となっており、「どちらかとい
えば住みた
くない」、「住みた
くない(できれば引
越したい)」の合計 12.0%
を大きく上回っている。

16. まちの魅力

■広陵町の魅力（上位5位）：広陵町はどのようなところが魅力か

	全体	広陵北
第1位	自然環境が豊かである	自然環境が豊かである
第2位	買物の便がよい	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている
第3位	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	歴史的遺産が多い
第4位	歴史的遺産が多い	人情味や地域の連帯感がある
第5位	道路・交通の便がよい	道路・交通の便がよい

17. 住民参加のまちづくりについて（各自治会の役員などへのヒアリング結果から）

① 地域の防犯活動（子どもの見守り活動、地域パトロールなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○登校時に PTA、区全体、区役員の各グループが交通安全の立哨を実施(子どもの服装など生活態度まで指導)
大野	○区による子どもの見守り活動や自警団による年末の夜警を実施(高齢化等で人不足となり始めており、ローテーションを組むことが難しい)
萱野	○交通安全・子どもの見守り活動に関しては、地域の評議委員や PTA が主に実施 ○地域パトロールは、自警団や PTA が主に実施
南	○交通対策協議会委員による立哨を実施 ○地域見守りボランティア(1名)が活動
弁財天	○交対協の役員等に朝の通学時の見守りを実施 ○年末は自警団が区内の見回りを実施
的場	○子どもの見守り活動は、子ども会が独自に実施
大場	○会う人同士、声を掛け合う心がけ、地域の会合の際は、必ず地域ぐるみで犯罪防止の意識確認を実施
中	○年末に自警団による夜警を実施(2日間)
寺戸	○下校安全パトロールを区議員が実施(週1回) ○春と秋の交通安全運動期間中は立哨を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 8 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○他の地域ではNPO法人を立ち上げるなどの動きもみられるが、現状では、これまで通り区独自でやっていく方向である。</p> <p>○自分たちが暮らす地域住民が一線で活動に取り組んでいることは、身近で安心安全であるから。</p> <p>○町から支援が今後あるのであれば、役割分担をして活動をすすめていきたい。</p> <p>○他の地域と連携してできるのであれば考えたい。</p> <p>○地域の実情を知り顔見知りの方が良いと考えられるから。ただ大規模な取組は町が率先してどんどん行ってほしい。</p> <p>○基本的に区で行うべきだが、必要に応じて行政の協力も必要と考えた。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> ■ ある 8 ■ ない 1 </p>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 1 ■ 行政 5 ■ NPOなど 2 ■ その他 1 </p>	<p>「行政」を選択した理由</p> <p>○区やボランティアで通学路等とかの見守りを行い、事故等が起こった場合、どこが責任をとるのかという問題が出てくる。行政が中心となつて、NPO等を組織し、実行するのがよいのではないか。</p>

地域の防犯活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性は「ある」が多く、89%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「NPOなど」、そして「区」及び「その他」が同数となっている。「その他」では「警察」があげられている。

■自由意見
<p>○現在はタスキを掛けているが、見守り活動を行っていることが一目で分かるように、蛍光色のゼッケンなどを配布してほしい。</p> <p>○先日、不審者の情報があつた道に防犯カメラを設置していただいたことで、地域住民からも安心の声が多数あつた。</p> <p>○子どもに声を掛けることを「悪」とする傾向も出てきているのでどうしたらいいか。</p> <p>○他の地域の情報があれば、それを参考にしていきたい。</p> <p>○朝8時、昼3時には各家庭が家の外に用事を作って表に出るように働きかけると子どもの見守りになる。</p> <p>○老人クラブ、子ども会父親の部のもっと積極的な参加が望まれる。</p> <p>○外部の人間が見守りやパトロールを行っても、区のことをわかっていない。NPO等を組織するとしても、区長が区の出身者を推薦し、参加する形をとるのがよい。</p> <p>○区議員の立哨(見守り活動)が不可能になった場合の対応策が不明確である。</p>

② 地域の防災活動（消防訓練、防災組織の設置など）に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○自警団が主となり、区民が集まる機会などに防災訓練を実施（自主防災組織は未設置） ○老人クラブは、何かあれば自主的に活動、婦人会は、随時自主的な炊き出し訓練を実施
大野	○区で防災訓練を実施（年1回、今年度は校区全体の訓練に参加したため見送った）
萱野	○防災に関しては区と自警団が主に取り組みを実施 ○区役員が高田川と葛城川の水路のゲート管理を定期的実施 ○校区の防災訓練への参加
南	○校区の防災訓練参加し、自警団でも区内防災訓練を実施（隔年） ○自主防災組織による研究会の開催や自警団による意識啓発活動
弁財天	○防災訓練の実施（年1回） ○自警団によるポンプ点検等を実施
的場	○自警団による消火栓、消防ポンプなどの点検（月1回実施）や消防訓練の実施
大場	○自警団が区の東西にある防災用タンクを交互使用し、計画的に消防訓練を実施 ○自主防災組織を結成
中	○北校区の防災訓練への参加。 ○自主防災研修を実施（今年度は淡路島の野島断層を視察）
寺戸	○区独自で地域防災訓練を実施（年1回、参加者が非常に少ない） ○自警団が定期的に設備の点検、訓練を実施 ○自警団による年末の夜警や正月に出初め式を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 8 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害情報など、常に行政から情報を得る必要がある。 ○地区のことをよく知る地域住民で形成された自警団なので、地域住民の信頼度が高く安心できる。 ○防災意識の持ち方に関して、町の担当者と話し合いたいから。 ○区として取り組みたい思いがあり、自主防災委員及び自警団は定期的に考えてくれている。 ○行政からの情報が欲しいので。 ○区が中心となって行なうべきだが、行政と連携をとる必要があるため。 <p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区だけでは対応が出来ない。校区ごとの訓練を継続してほしい。
協働の必要性	
<p> ■ ある 8 ■ ない 1 </p>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 3 ■ 行政 7 ■ NPOなど 1 ■ その他 0 </p>	<p>「行政」と「区」を選択した理由</p> <p>○避難場所の広報活動等、行政の協力が求められる。</p> <p>○専門家のアドバイスと、設備・組織力が必要であるから。</p>

地域の防災活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。(1 地域で複数回答あり)

協働の必要性は「ある」が多く、89%が選んでいる。

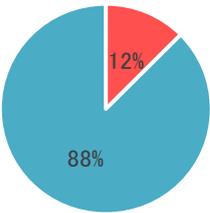
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「区」、「NPOなど」の順となっている。

■自由意見
<p>○何か通報がある場合は、パトカーが巡回してくれる。</p> <p>○町の防災無線が聞き取りにくい。隣町の河合町のほうがよく聞こえる。防災無線から有線放送へ繋ぎ、各家庭に放送を流すこともできないか。</p> <p>○自警団の備品が盗難に遭うことがある。(ホースの筒先など)</p> <p>○今回の台風 21 号のように、これまでにない水害が発生する可能性がある。不毛田川の流水にも限界があることから改修ができればと思う。</p> <p>○北校区の避難場所がはしお元気村や北小学校などの低地しかない。今回も北校区では、各自治会の公民館に避難したそうだ。もう一度水害時の避難場所について検討する必要があるのではないか。</p> <p>○今年行われた北校区の地域防災訓練を、これからも定期的(年 1 回)に行う機会があればありがたい。</p> <p>○地域に消防ポンプがあっても使い手が村外の勤務地であり何の意味も無い。</p> <p>○消火器を村の数カ所に設置した方がより効果があると思う。</p> <p>○自主防災組織があっても、自警団などに所属する人が減ってきたため、活用ができない。</p> <p>○自警団を引退したが、まだ動ける年代の人が活躍できる場の提供をしてはどうか。</p> <p>○防災組織の活動内容についてマンネリ化しており、年々参加者が減っている。</p> <p>○参加意識が低いので参加者が少ない。</p> <p>○自警団と役場の連携が少ない。任意団体過ぎる。自警団がどんな活動をしているか情報共有するだけでも成果ではないか。</p>

③ 地域の清掃や美化活動（クリーンキャンペーン、つゆはりなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○区民清掃(年2回)の実施や町主催のクリーンキャンペーンに参加(多くの区民が参加) ○池周囲の草刈りなどを随時実施
大野	○毎月の神社の掃除やつゆはり(年2回)の実施、町主催のクリーンキャンペーンへの参加(多くの区民が参加)
萱野	○つゆはり(年2回)の実施や町主催のクリーンキャンペーンに参加(多くの区民が参加) ○「第二浄化センター環境保全委員会」という他大字や他市町との集まりに参加
南	○町主催のクリーンキャンペーンに参加(年2回) ○農事実行組合でつゆはりを実施(年2回) ○リサイクルステーションの準備、見守り
弁財天	○子ども会、農業関係の役員等による植栽やゴミ拾いを実施(年1回) ○区でクリーンキャンペーン、実行組合でつゆはりを実施(各年2回)
的場	○町主催のクリーンキャンペーン(葛城川周辺)を実施(参加者60名程度) ○区で地域の溝などの泥上げ清掃(年1回)、実行組合でつゆはり(年2回)を実施
大場	○町主催のクリーンキャンペーンに参加(年2回、多くの区民が参加) ○つゆはり(農業用水路掃除や土砂取り)や神社や各道路脇の雑草などの刈り取りを実施(年2回)
中	○つゆはりの実施(年2回)や町主催のクリーンキャンペーンに参加 ○花いっぱいキャンペーンを実施(年2回)
寺戸	○つゆはりの実施(年2回、多くの区民が参加) ○町主催のクリーンキャンペーンに参加(参加者が少ない)

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 8 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○地域のことは、まずは地域住民でおこなうことが地域の現状を知る大きなきっかけであるから。</p> <p>○区が主体となった上で、行政が介入し清掃活動を促すことで、意識も変わってくるのではないかと考えるから。</p> <p>○区で行うべきだが、必要に応じて行政の協力も必要と考えた。</p> <p>○区が中心として活動するべきだが、クリーンキャンペーン等で出たごみは、区では処分できないため、行政の補助が必要である。</p> <p>○地域で出したゴミは地域が取るべきである。</p> <p>○河川や県道付近は行政とともに協力して行いたい。</p> <p>○地域の美化意識に繋がる。</p>
協働の必要性	
<p> ■ ある 7 ■ ない 2 </p>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 1 ■ 行政 7 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幹線道路のごみ等について行政が取り組むべき。 ○ ごみ出しのルールが守られておらず、行政が周知すべきなので。 <p>「行政」と「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行政が行うべきもので無く、各地域で行うべきものである。 ○ 自治会である程度行えるが、行政の助けも必要である。

地域の清掃や美化活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。(1 地域で複数回答あり)

協働の必要性は「ある」が多く、78%が選んでいる。

協働すべき団体は「行政」が最も多く選ばれており、次いで「区」となっている。

■ 自由意見

- 高田川堤防の草は事前に、高田土木事務所に頼んで伐採してもらってほしい。川流域のごみなどが拾いにくい。
- 地域でも取り組んではいるが、まだ後をたたない不法投棄の把握および監視、取り締まりを町でもお願いしたい。
- ごみステーションへのごみの出し方など、もっと行政が説明を徹底するべきではないか。広報で周知してほしい。
- 天理のクリーンセンターになっても分別を続けるのか。
- 自動車などからのゴミポイ捨て、また、たばこのポイ捨てなど、いくら呼びかけてもあとをたたない。子どもの頃からの躾とゴミ拾いなどの経験が必要。
- 道路脇の田んぼに空き缶やゴミが捨てられているのを町で取り組めないか。
- 高田川のクリーンキャンペーンも有志ではなく、住民全員で行うのが望ましい。

④ 公園や集会所などの維持管理に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○公園や神社は各班で草刈りを実施(年2回) ○公民館の清掃は毎月、班ごとに実施
大野	○公民館は区、老人クラブ、婦人会が輪番制で清掃を実施 ○公民館の使用頻度は(月1回程度)
萱野	○第一公民館は役員が、第二公民館は老人クラブが管理
南	○公民館と借地公園は区で維持管理を実施
弁財天	○公民館は区で維持管理を実施
的場	○公民館は役員などが隔月で清掃を実施 ○消火施設の点検を実施(年2回)
大場	○区内に広場(県有地)があり、年1、2回県が草刈りを実施 ○公民館の維持管理は、区民の当番制による清掃、点検等や委託による消防設備点検を実施
中	○公民館は区による清掃(月1回)や委託による消防設備点検を実施(年1回) ○区による神社の掃除、遊具の修理、借地公園の草刈り(年4回)を実施
寺戸	○公民館の清掃は4軒1組となり実施(月2回) ○神社、遊技場の清掃は村議員、氏子総代により実施(年4回)、神社の掃除は老人会でも実施(年2回)

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 9 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○補助金などの関係で、行政との連携が必要である。</p> <p>○運営は地域で十分にできているので、特に何かを協働するということはない。</p> <p>○区で行うべきだが、必要に応じて行政の協力も必要と考えた。</p> <p>○区が中心となって行うべきだが、行政と連携をとる必要があるため。</p> <p>○自治会での維持管理を徹底しているため。</p> <p>○使用者が維持管理することが原則。</p> <p>「区」、「行政」を複数選択した理由</p> <p>○大がかりな修理等はお金がかかるので、行政の介入助けが必要。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> ■ ある 7 ■ ない 2 </p>	
<p>協働すべき団体</p> <p> ■ 区 1 ■ 行政 7 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	

公園や集会所などの維持管理に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。(1 地域で複数回答あり)

協働の必要性は「ある」が多く、78%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「区」となっている。

■自由意見

○公民館はこれまでは葬式に使うこともあったが、現在はセレモニーホールで行っている。また営利目的で利用するのは不可能であるため、今後の使用の在り方について、検討する必要がある。

○地域だけでは、十分な維持管理をすることはできない。

○公民館が2箇所あり、それぞれ老朽化も進んできているため、修繕のための費用を考えていただきたい。

○公民館で区民に対する講習、研修や体操などを、町から講師を派遣してもらい実施してはどうか。

○公民館の老朽化が心配。

○神社に遊具を設置した経緯がわからない。管理は誰がするのか。維持管理が大変。

⑤ 高齢者などを対象とした福祉活動（見守り・声掛け活動、サロン活動等の集いの場の提供など）に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○80歳到達者に、区から1回限り敬老費を贈呈 ○民生委員を中心に、独居高齢者などの見守り活動を実施
大野	○老人クラブの中に「趣味の会」があり、公民館で月1回程度活動を実施
萱野	○なごみの会という民生児童委員が主体となった活動を実施
南	○老人クラブが、年4回の旅行、さわやかホールの利用などの活動を実施
弁財天	○老人クラブの中に「趣味の会」があり、公民館で月1回程度活動を実施
的場	○民生委員を中心に声掛けを実施 ○老人クラブを中心に様々な活動を実施
大場	○老人クラブのさわやかホールの利用などの活動を実施
中	○民生委員による見守りの実施（高齢者がいる家は近所の方が把握し、気にかけている） ○老人クラブのさわやかホールの利用などの活動を実施
寺戸	○老人クラブのさわやかホールの利用やパークゴルフ等の参加呼びかけ、親睦旅行（年1回）を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 45% ■ 行政 44% ■ NPOなど 11% ■ その他 1% </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○昨今、地域住民が集っていた場が無くなるばかりなので、主に高齢者が気軽に集まるようなサロンの核となるものが欲しい。そのためには、町はもちろんNPOの協力も必要である。</p> <p>「行政」を選択した理由</p> <p>○区としては、老人クラブにあまり目を向けていない傾向があるので。</p> <p>○行政で対応すべき内容、必要に応じて地域も協力すべき必要と考えている。</p> <p>○地域の高齢者をすべて把握することができず、民生委員にも守秘義務があるため、行政が中心となって行うのがよい。</p> <p>○動ける高齢者は、さわやかホールなどで、他の大字の方と関わりの場を持つことを楽しんでいるように思う。</p> <p>○区だけの取り組みに限界があるから。</p> <p>○基盤づくりをお願いしたい。</p> <p>「その他」を選択した理由</p> <p>○子ども会に対し、区から補助金を出す体制が今後も必要である。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> ■ ある 67% ■ ない 33% </p>	
<p>協働すべき団体</p> <p> ■ 区 83% ■ 行政 17% ■ NPOなど 0% ■ その他 0% </p>	

高齢者などを対象とした福祉活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「行政」及び「区」が同数となっており、次いで「その他」となっている。「その他」では「民生委員」があげられている。

協働の必要性は「ある」が多く、67%が選んでいる。

協働すべき団体は、「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

■ 自由意見

○これは民生委員の範疇であるため、あまり区から報告することはない。

○集まりやすい箸尾駅の近くにも、昼夜で形をかえるサロンのようなものも作りたいと以前から考えていた。空き家などを活用して出来ないものか。

○空き家の対策で自治会がサロン運営する、空き地を集いの場として提供するなどの活動を行っている所があるということを知りますが、旧村では相続の問題が残り困難だと思う。法的な整備でクリアできれば良いが。

○これは民生委員の範疇であるため、あまり区から報告することはない。

○老人会で立哨を行っていたがなくなった。

⑥ 地域での子どもを対象とした活動(子ども同士や地域住民との交流の場・学習の場の提供など)に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○子ども神輿を2日間開催 ○年末の特別警戒では、自警団と子ども会が合同で夜警を実施 ○子ども会で歓迎会、クリスマス会などの活動を実施
大野	○子ども会で、秋まつりと廃品回収、歓送迎会などを実施
萱野	○子ども会(66名が参加)の活動は密で、遠足や体験学習などの活動を実施(年3回)
南	○戸閉祭りには子ども会も協力しており、青年会が子どもたちを対象に太鼓の叩き手練習会を実施 ○戎まつりの福引きや節分会を実施
弁財天	○子ども会で、秋まつりと廃品回収、歓送迎会などを実施
的場	○子ども会を中心に活動実施(子ども会の会員が減少傾向にある) ○他の自治会(弁財天など)と防災の大切さを教えるために、サバイバルキャンプを実施
大場	○年数回、自警団によるバーベキュー親睦会を実施 ○区の子どもの地蔵盆に参加させ交流を実施
中	○子ども会は活発に活動しており、映画鑑賞、ポーリング、工場見学などを実施 ○祭りの子ども神輿や、とんど、町民体育祭、地蔵盆などを通して住民と交流を実施
寺戸	○子どもみこしの巡行を実施 ○大とんどを実施(子ども会の6年生を中心に点火を行う)

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 区 9 行政 0 NPOなど 0 その他 0 	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○子ども会に対し、区から補助金を出す体制が今後も必要である。○地域での限られた中での子どもとの交流は出来るが、行政の協力があれば地域ごとの住民と子どもとの娯楽や学習での交流ができると考えるから。</p> <p>○参加する子どもが少なくなっている傾向がある。他の自治会と連携してできることも考えたい。</p> <p>○祭を通じて交流を図りたい。</p> <p>○区で行うべきだが、必要に応じて行政の協力も必要と考えた。</p> <p>○区が中心となって行うべきだが、行政と連携をとる必要があるため。</p> <p>○外遊びや交流は祭り等を通じて、区で盛り上げていきたいと考える。</p>
<p>協働の必要性</p> <p>56% 44%</p> <ul style="list-style-type: none"> ある 5 ない 4 	
<p>協働するべき団体</p> <p>80% 20%</p> <ul style="list-style-type: none"> 区 0 行政 4 NPOなど 0 その他 1 	

地域での子どもを対象とした活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域で「区」が選ばれている。

協働の必要性は「ある」が多く、67%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「その他」となっている。「その他」では「他の区」があげられている。

■自由意見

○過去に夏祭り(盆踊り)なども実施したが、現在は行っていない。

○あいさつ運動など、あいさつを大切にしたまちづくりを考えてほしい。

⑦ まちづくりの方向性に関する考え方

■地域活動の現状	
沢	○転入者の理解を得るのが難しく、「区費は払うが、活動に協力したくない」と言う人がいる
大野	○これまでは区への加入率は100%だったが、新規開発地区の転入者が一部未加入のため、区から何度も声掛けをしており、開発業者にも区の必要性や加入してもらいたい旨を周知している
萱野	○祭事としては、櫛玉神社のだんじり祭りが有名であるが、夏祭りのような催しはない
南	○祭を中心にしたまちづくりを行っており、地域の防災についても取り組んでいる
弁天財	○特になし
的場	○地域コミュニティを通して、行政に頼るだけの状態ではなく、自助共助を強化していきたい
大場	○インターチェンジが近く、流通機構がよい立地のため企業が多く、地域の中で活動される人々が増えており、地域の活性化のために、今後も企業の誘致を進めていきたい
中	○区長、自治会長会などに参加して、意見を言う場はある
寺戸	○特になし

■活動の実施に対する考え方	
中心に取り組むべき団体	中心に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 4 ■ 行政 5 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○新住民が増えていることもあり、昔から住んでいる人々と融合していけるよう、区長・自治会長会にも意見を聞き、他の地域はどうしているのか、いろいろな方法を学んでいく必要がある。</p> <p>○地域では伝統あるだんじり祭りを誇りに思っているが、よりよい地域の活性化のためには行政の協力不可欠である。</p> <p>「行政」を選択した理由</p> <p>○防災訓練、自警団の取り組みなどを他の自治会とも連携していきたいので、それを行政が取りまとめてくれれば。</p> <p>○安心安全なまちづくりを目指したいため。</p> <p>○まちづくりは行政が考えるべきテーマである。方向性は行政が考え、それに意見をする形で区が関わることはできる。</p> <p>○大きなまちの施策にまちづくりを託したい。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> ■ ある 8 ■ ない 1 </p>	
<p>協働すべき団体</p> <p> ■ 区 4 ■ 行政 4 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	

まちづくりの方向性に関して、中心的に取り組むべき団体は「行政」が多く、次いで「区」が選ばれている。

協働の必要性は「ある」が多く、89%が選んでいる。

協働すべき団体は、「区」及び「行政」が同数となっている。

■自由意見

○役場から転入届をもらったときに区に入るよう周知してほしい。

○地域の風土や習慣に馴染まない人がどんどん入ってくることで、この昔からの伝統がなくなる可能性もある。子ども会や自警団は、その人たちに押される可能性があるので、区としてどうしていくか検討したいと思う。

○地域住民の交流のためにも、地域の行事がもう少し密にできれば嬉しい。(北校区で夏祭りなど)

○企業誘致をもっと頑張してほしい。働く場所を近くに。

○交通が不便。コミュニティバスの路線が問題。

○地域の風土や習慣に馴染まない人がどんどん入ってくることで、この昔からの伝統がなくなる可能性もある。子ども会や自警団は、その人たちに押される可能性があるので、自治会としてどうしていくか検討したいと思う。

○安心安全のまちづくりを目指すために、大規模災害を想定した防災訓練の充実が必要と思う。

○防災無線を庁内全戸に配布してはどうか。今の防災無線は聞こえない場合もあり不安である。葛城市では予算 8 億 2000 万円で防災無線機を全戸配布したとのこと。

○企業誘致には、地域の水害がネックとなる。

○区長、自治会長会において、本当に自分たちの意見が反映されているのかと感じる。ただ集まって、書類だけもらっているような感覚がある。説明にくる役場の職員でも、きちんと考えているのかと思う職員がいる。

○元気号についても、町単位で実施するから、狭い範囲の運用しかできない。近隣の市町村と広域で実施してはどうか。

○高田川が氾濫しないか不安。